

# 逐條土地收用法資料(七)

高 坂 孝 三

## 六、事業認定ニ於ケル外部ノ意見ノ參酌

(一) (四五議 大正十一年三月二十二日 衆議院特別委員會)

(要旨) 事業認定ニ際シ其ノ慎重ヲ期スル爲利害關係人ニ發言機會ヲ與フルノ要ナキヤ否ヤノ主法論

(問) 吾々人民ノ側ニ立ツテ見マスレバ、起業ヲ計畫シテ其ノ後ノ補償金額ニ付テノミ相當機關ニ救濟ヲ訴ヘルコトガ出來ルト云フ規定丈ケデハ憲法ノ保障ニ依ツテ持ツテ居リマスル所ノ臣民ノ所有權其ノ他ノ權利ハ非常ニ薄弱ナルモノト考ヘルノデア

リマス……内閣ガ認定スル時分ニ十分利害關係人……ラシテ相當ナ 發言ヲ爲サシムルコトガ必要デハナイカ、否私ハ必要デアルト思フ、サウ云フ點ニ付テ何カ御考慮ニナツテ居ル點ガアリマスカ

(政府委員答) 土地收用法ヲ適用スル事業トシテ認定スヘキモノナリヤ否ヤト云フコトニ何等カ利害關係人ニ發言ノ機會ヲ與ヘテハ何ウカト云フ御尋ノ様デアリマスガ……各國トモ此ノ土地收用ト云フコトニ付テハ最モ重キヲ置キ鄭重ナル手續ヲ執ツテ居ルノデアリマス、我國ニ於テモ亦普通ノ場合ト異リマシテ……内務省ニ於テハ夫々照會ヲ重ネテ眞ニ此ノ事業ハ止ムヲ得ナイ事業デアアル、公益事業トシテ之ヲヤルニハ果シテ之丈ケノ區

域ノ土地ハ何ウシテモ收用セネバ仕事ガ出来ナイト云フ見通ノ出来タ場合ニ於テノミ内閣ノ認定ヲ得ルコトニシテ居ルノデアリマシテ……土地收用ト云フコトガ臣民ノ權利ニ重大ナル關係ガ有ルト云フ其ノ點ヲ考慮シテ斯ウ云フ風ナ法制ニナツテ居ルノデアリマス、之ヲ更ニ一層何等カ鄭重ニスルト云フ考ヘハ無イカト云フコトニナリマスレバ其ノ點モ當局トシテハ今回ノ改正案ヲ作ルニ當ツテ種々考ヘマシタガ何ウモ此ノ程度デ差支無カラウ内務大臣限りデヤツテ宜イデハナイカト云フ意見モ有リマシタガ、諸外國ノ立法等ヲ参照致シテ見ルト矢張此ノ程度ガ適當デアラウ、斯ウ云フ風ニ致シマシテ現行法ノ其ノ點ニ付テハ改正スル考ヲ持タズニ茲ニ本案ヲ提出シタ次第デス

(二)

(五二議 昭和二年三月十八日 貴族院 特別委員會)

(要旨) 内務大臣ハ事業ヲ認定スルニ際シ必要アルトキハ各省大臣ノ意見ヲ徵スルコトヲ得ルモノナリ

(問) 事業其ノモノガ内務省所管以外ニ互ル場合ニ於テハ内務大臣ガ認定ニナル前ニ於テ其ノ關係各省ニ必ズ合議ヲナサルト云フ様ナ何カノ手續ヲ以テ萬一ニモ事業其ノモノノ採否ヲ關係各省ノ意ニ反シテ内務省デ認定スルコトガ無イ様ニスル爲ニ何カノ方法ヲ御探リニナル御考ガアルデアリマセウカ

(政府委員答) 日常取扱ヒマスル事業認定ノ總テノ場合ニ關係各省ニ相談スルト云フ必要ハ無イト考ヘマス……併乍ラ場合ニ依リマシテハ果シテ之ヲ公共ノ利益トナルベキ事業ト認定シテ良イカ惡イカ認定ヲスルニ付テ疑ヲ生ズル場合ガ有ルノデアリマス、例ヘバ製鐵事業ニ土地收用ヲ許シテ居ルサウ云フ様ナ場合ニ果シテ之ガ公共ノ利益トナルベキ事業……デアルカ否カト云フ事ニ付キマシテハ内務省限りデ決メルコトガ如何カト考ヘル場合ガ現在ニ於テモ有ルノデアリマス、サウ云フ場合ニハ商工省ノ意見ヲ徵シテ然後ニ決定スルコトニナツテ居リマス、今迄モサウデスシ將來ト雖モサウ云フ疑ガ有リマス場合ニハ關係各省ニ交渉スル手續ハ怠ラナイ積リデ御座イマス

七、土地收用ノ事業認定ト其ノ土地ニ關ス

ル所有權以外ノ權利ノ收用

(一)

(内務省 明治四十五年六月十五日 議決)

(要旨) 土地ヲ收用スルコトヲ得ルモノト認定セラレタル事業ノ起業者ハ其ノ土地ニ關スル地上權又ハ賃借權ノ收用ニ關シ更ニ事業認定ヲ受クルヲ要セス

(案原文) 土地收用法ニ依リ土地ヲ收用スルコトヲ得ルモノト認

定セラレタル事業ノ起業者カ同法第二十二條ニ依リ土地所有者ニ協議ヲ爲シ土地ノ所有權ヲ買受ケタルモ其ノ土地ニ關シ登記シタル地上權者又ハ賃借權者アリテ協議調ハサル場合ニ於テハ其ノ權利收用ニ關シ更ニ内閣ノ認定ヲ受ケサルモ直ニ收用審査會ニ對シ裁決ヲ申請シ得ルモノト決定相成可然哉

(二) (内務大臣 大正元年八月二十九日 主第二二三五號ノ二訴願裁決)

(要旨) 土地收用法第七條ノ規定ニ依ル土地所有權以外ノ權利ノ收用ニ付テハ事業ノ認定ヲ經サル可ラサルモ右ハ單獨ニ土地所有權以外ノ權利ヲ收用スル場合ニ限リタルモノニシテ土地ヲ收用スルコトヲ得ルモノトノ認定ヲ受ケタル事業ノ起業者ハ其ノ土地ニ關スル地上權ノ收用ニ付テハ更ニ事業ノ認定ヲ受クルヲ要セス

(辯明書要旨) 土地收用ノ事業認定中ニ當然他物件ノ收用ヲ包含スルモノニ非ズ殊ニ本件土地ノ所有權ハ協議ニ依リ已ニ起業者ニ歸屬シ其土地ニ存在スル地上權ノ收用ヲ目的トスルニ於テハ更ニ内閣ノ認定ヲ經サル可ラサルヲ論フ俟タズ

(裁判理由) 土地收用法上土地所有權以外ノ權利收用ニ關シテハ同法第七條ノ規定アルヲ以テ是等權利ノ收用ノ場合ニ於テ内閣

ノ認定ヲ經サル可ラサルハ東京府審査會長所述ノ如シ然レトモ右ハ單獨ニ所有權以外ノ權利ノ收用ノ場合ニ限リタルモノニシテ土地收用法ニ依リ土地ヲ收用スルコトヲ得ルモノトノ内閣ノ認定ヲ經タル事業ニ付テハ土地ノ所有權ハ協議ノ賣買ニ因リテ之ヲ取得スルモ其土地ニ關シ地上權ノ設定セラレタル場合ニ於テハ更ニ内閣ノ認定ヲ經ルヲ要セス直ニ收用審査會ノ裁決ヲ申請シ得ヘキモノトス

#### 八、事業認定後ニ於ケル工事設計ノ一部變更ノ認可

(行裁 昭和六年 第二五五號 同六年十一月四日宣告)

(要旨) 土地收用法第十二條ノ事業認定アリタル後該認定ノ基礎タル事業計畫書及圖面ノ工事設計ノ一部ヲ變更シタル場合ニ監督官廳ノ認可ヲ要スルヤ否ヤハ土地收用法ニ關係ナキ別箇ノ問題ニシテ其ノ認可ノ有無ニ依リ土地收用手續ノ違法ヲ來スモノニ非ズ

(原告主張) 内務大臣ノ事業認定後ニ於テ認定ノ基礎タル事業計畫書及圖面ノ工事設計ノ一部ヲ變更シタル場合ニハ監督官廳ノ認可ヲ受ケ更ニ内務大臣ノ事業認定ノ更正手續ヲ爲スヘキモノ

ナリ然ルニ川島町長カ内務大臣ノ事業認定後道路ノ勾配及側溝壁ノ土留石垣ヲ混凝土ニ變更シタルニ拘ラス徳島縣知事ノ認可ヲ受ケス又内務大臣ノ事業認定ノ更正手續ヲ爲サザリシハ失當ナリ

(判決理由)土地收用法第十二條ノ認定アリタル後該認定ノ基礎タル事業計畫書及圖面ノ工事設計ノ一部ヲ變更シタル場合ニ監督官廳ノ認可ヲ要スルヤ否ハ土地收用法ニ關係オキ別個ノ問題ニシテ其ノ認可ノ有無ニ依リ土地收用手續ノ違法ヲ來スモノニ非ス

第十三條 起業者ガ前條ノ認定ヲ受ケントスルトキハ事業計畫書及圖面ヲ添へ地方長官ヲ經由シテ内務大臣ニ申請スベシ但シ起業者ガ宮内省又ハ國ナルトキハ宮内大臣又ハ主務大臣ハ事業計畫書及圖面ヲ添へ内務大臣ニ請求スベシ

施行令

第三條 起業者ガ内務大臣ノ認定ヲ受ケントスル場合ニ於テ起業地内ニ左ニ掲ゲタル土地アルトキハ其ノ土地ニ關スル調書及圖面ヲ申請書ニ添附スベシ  
一、御料地及皇族所有地

二、國有地  
三、現ニ土地ヲ收用又ハ使用スルコトヲ得ル事業ノ用ニ併スル土地  
四、寺院境内地

五、名所、舊蹟及古墳墓  
前項ニ規定スル調書ニハ其ノ土地ヲ起業地ニ編入スルニ付土地管理者ノ意見ヲ記載スベシ

土地收用法ニ依ル事務處理方法ニ關スル件

(内務大正六年十一月十二日發土第九六號)  
内務各地方長官宛、土木局長通牒

土地收用法ニ依ル事業認定ニ關スル申請書ニ對シテハ從來訓令通牒等ニ基キ夫々處理相成候事ト存候得共尙書類ノ不備訂正ニ屢々照復ヲ要スル向モ有之事務ノ進捗ヲ阻害スルコト不尠候ニ付爾今左記方法ニ依リ處理相成度

記

一、事業認定申請書ニ添附スヘキ事業計畫書ハ其ノ事業ノ要領ヲ知り得ヘキ程度ニ作製セシムルコト但シ官廳ノ許可若ハ認可ヲ受ケタル事業ニ在リテハ其ノ許可若ハ認可ノ際提出シタル計畫書ト同様ノモノヲ添附スルモ妨ケナキコト  
二、事業認定申請書ニ添附スヘキ圖面ハ平面圖トシ別ニ縱横斷

ノ圖面ヲ必要トセサルコト但シ特別ノ必要アルモノ又ハ審査  
上平面圖以外ノ圖面添附ヲ便宜トナストキハ此ノ限ニ在ラサ  
ルモノトス

三、事業認定申請書ニ添附スヘキ平面圖（縮尺隨意ナルモ過少  
ナルモノ及長大ナルモノニ在リテハ別ニ見取圖ヲ添附スルコ  
ト）ニハ收用又ハ使用ヲ要スル土地ノ區域並附近ノ地形ヲ表  
示セシメ且事業地ニ於ケル府縣都市區町村名（市ニ在リテハ  
何町何丁目迄）及其ノ境界線並要塞地帯、道路、河川、港灣  
軌道其ノ他公共ノ利益トナルヘキ事業ニ供シタル土地トノ關  
係等ヲ記載セシムルコト但シ國道、府縣道、河川法施行ノ河  
川、河川法準用ノ河川、流域二府縣以上ニ跨ル河川及大正元  
年十一月內務省訓令第二十五號ニ依ル本省大臣指定ノ港灣ニ  
關係アル場合ハ特ニ其ノ區別ヲ記入セシムルコト

四、土地收用法第十四條ニ依ル公告事項ヲ別紙様式ニ依リ記載  
シ添附スルコト

五、同一ノ事業ニ付同時ニ土地ヲ收用及使用セントスルトキハ  
事業認定申請書ニ添附スヘキ平面圖ニ收用及使用ノ區域ヲ表  
示セシムルコト

六、土地ニ關スル所有權以外ノ權利ノ收用又ハ使用ニ關スル事  
業認定申請書ニハ平面圖ニ收用又ハ使用ノ區域ヲ表示セシム

ルコト

七、電氣瓦斯等ニ關スル事業認定申請書ニハ其ノ用途供給區域  
等ヲ記載セシムルコト

八、鐵道、軌道其ノ他工事施行ニ關シ官廳ノ許可若ハ認可ヲ要  
スル事業ニ在リテハ其ノ許可若ハ認可ヲ得タル後ニ於テ事業  
認定ノ申請ヲ爲サシムルコト仍其ノ申請書ニハ官廳ノ許可若  
ハ認可ノ年月日ヲ記載セシムルコト

九、土地收用法施行令第三條ノ土地ニ關スル調書ニハ特ニ同條  
第一號第四號及第五號ニ該當スル土地ニ付キテハ各地目毎ニ  
其ノ坪數又ハ長、幅ヲ記載セシムルコト

十、土地收用法施行令第三條ノ土地ニ關シテハ該令ニ依ル圖面  
ノ外其ノ土地ノ位置ヲ知ルヘキ（調書記載ノ各地目ト照合ス  
ヘキ符號ヲ記入スルコト）平面圖ヲ添附セシムルコト但シ事  
業認定申請書添附ノ圖面ヲ兼用シ得ルコト

十一、土地收用法施行令第三條ノ土地ニ關シテハ所管官廳（但  
シ神社ニ在リテハ管理者、寺院ニ在リテハ住職及檀信徒總代  
連署、墓地及公園ニ在リテハ其ノ管理者）ノ意見書ヲ添附ス  
ルコト但シ道路、堤塘、惡水路等ノ變更廢止ノ如キ貴官限リ  
處分セラルヘキモノハ其ノ要領ヲ記載スルコト

十二、起業地内ニ土地收用法施行令第三條ノ土地以外ニ於テ現

ニ公共ノ利益トナルヘキ事業（土地收用法第二條ニ該當スル事業）ニ供セラルル土地アルトキハ之ニ付交渉ノ顛末ヲ記載スルコト

十三、國ノ事業ニシテ土地收用法施行令第三條ノ土地ニ關シ貴官ヘ協議アリタル場合ヘ之ニ回答ト同時ニ第十一號ト同様ノ意見書ヲ添附シ協議ノ顛末ヲ當省ニ報告セラルルコト

官報 公 告

起 業 者 何縣何郡何市町村又ハ何會社ノ類

事業ノ種類 河川改修、下水新設、學校建設、軌道敷設ノ類

起 業 地 何縣何郡何市町村地内

備 考 起業地内ニ係ルモノハ何市何町地内又ハ何町何丁目

地内ト記スコト

起業地名ニ付テハ後日正誤ノ申請ナキ様特ニ注意ス

ルコト

土地收用法ニ依ル事務處理方法ニ關スル件

（内務大正七年十一月五日發土第一五四號）  
各地方長官宛、土木局長通牒

客年十一月當省發土第九十六號通牒第十三號ノ意見書竝協議類

末書ハ自今御進達ニ不及候

一、内務大臣ノ起業ニ係ル國道ノ新設又ハ  
改築ト本法ニ依ル事業認定

（行裁昭和九年、第三三六、七號）  
同十二年五月六日宣告

（要旨）内務大臣ハ道路法施行令第十條ノ二ノ規定ニ依ル道路ノ路線名、區間及工事開始ノ期日ヲ告示ヲ爲スニ非サレハ土地收用法上起業者トシテ國道ノ新設又ハ改築ニ付同法ニ依ル事業認定ヲ受クルノ權限ナキモノト解スルヲ相當トス

（判決理由）道路法第十七條同第二十條ノ各規定ニ依レハ國道ノ管理者ハ府縣知事ニシテ國道ノ新設、改築、修繕及維持ハ管理者タル府縣知事ノ權限ニ屬シ内務大臣ハ必要アリト認ムルトキニ限り國道ノ新設又ハ改築ヲ爲スコトヲ得ルニ止マリ而モ其ノ場合内務大臣ハ道路管理者ノ權限ヲ命令ノ規定スル所ニ從ヒ行使スルニ過キス而シテ道路法施行令第十條ノ二ノ規定ニ依レハ内務大臣カ國道ノ新設又ハ改築ヲ爲スニハ豫メ官報ヲ以テ其ノ道路ノ路線名、區間及工事開始ノ期日ヲ告示スヘキモノナルヲ以テ内務大臣ハ右告示以前ニ於テハ國道ノ改築ニ付テ道路管理者ノ權限ヲ行使スルヲ得ス從テ右告示以前ニ於テハ國道ノ改築

ノ爲ニ必要ナル土地ニ關スル權利ノ收用並地上物件ノ移轉ノ爲  
ニ土地收用法ニ依ル專業認定ヲ受タルノ權限ナキモノト解スル  
ヲ相當トス

## 二、土地收用法施行令第三條第五號ニ所謂

### 古墳墓ノ意義

(行裁 昭和三年 第一八九號  
同五年二月二十日宣告)

(要旨) 土地收用法施行令第三條第五號ニ所謂古墳墓トハ  
私人ノ埋葬地ニ存スルモノナルトモ、トヲ問ハス名所舊蹟ニ  
準シ保存ヲ要スヘキモノノ謂ナリ

(原告主張) 土地收用法施行令第三條ニ依レハ收用地内ニ古墳墓  
地ノ存スル場合ニハ起業者ハ之ニ關スル調書並圖面ヲ公益事業  
認定ノ出願書ニ添附スヘク大正六年十一月十二日內務省土木局  
長ノ通牒ニ依レハ墓地管理者ノ意見書及之ニ對スル意見書ヲ添  
附スヘキモノナリ然ルニ原告所有ニ係ル字明王澤四十七番地ノ  
墓地ハ明和八年久保家第一代ノ祖死亡以來昭和三年ニ至ル迄百  
五十八年ヲ經過シタル古墳墓ニシテ輕々シク收用スヘキ性質ノ  
モノニ非ス然ルニ本件起業者ハ之ニ對シテ該墓地ノ管理者タル  
原告ノ意見ヲ徵シタルコトナク又前記土地收用法施行令第三條

ノ手續ヲ履踐セサルモノナルニ依リ該土地ノ收用ハ違法ナリ  
(判決理由) 土地收用法施行令第三條第五號ニ所謂古墳墓トハ私  
人ノ埋葬地ニ存スルト否トヲ問ヘス名所舊蹟ニ準シ保存ヲ要ス  
ルモノノ謂ナリト解スヘク原告久保福壽ノ所有ニ係ル明王澤四  
十七番ノ墓地ニ明和八年久保家第一代ノ祖死亡以來昭和三年ニ  
至ル迄百五十八年ヲ經過セル墳墓ノ存スルコト原告主張ノ如シ  
トスルモ其ノ名所舊蹟ニ準シ保存ヲ要スルモノナルコトヲ認ム  
ヘキ何等證據ナキニ依リ該墳墓ハ前記土地收用法施行令ノ規定  
ニ該當スルモノト認ムルヲ得ス然レハ此ノ點ニ關スル原告ノ主  
張ハ理由ナシ

第十四條 內務大臣力認定ヲ爲シタルトキハ起業者及事業  
ノ種類並起業地ヲ公告スヘシ

### 施行令

第四條 土地收用法第十四條ニ依ル公告ハ官報ヲ以テ之ヲ爲ス  
ベシ

## 一、專業認定公告ニ於ケル起業者名義ノ表示方

(行裁 昭和五年 第三五二號  
同七年三月二十九日宣告)

(要旨) 起業者力鐵道省ナル場合ニ土地收用法第十四條ノ

規定ニ依ル内務大臣ノ專業認定公告ニ於テ起業者ヲ鐵道省ト表示セス鐵道大臣ト爲シタルハ違法ニ非ス

(判決理由)原告ハ起業者カ鐵道省ナルトキハ其ノ起業ニ必要ナル土地ニ付收用ノ裁決ヲ申請スルニハ鐵道大臣ノ名ニ於テ爲スヘキナルニ拘ラス鐵道省ノ起業ニ必要ナリトシテ原告所有ノ土地ニ付本件收用ノ裁決ヲ鐵道省大阪改良事務所長ノ名ニ於テ申請シタルハ違法ナリ假ニ右申請ハ違法ノモノニ非ストスルモ本件土地ヲ必要トスル起業者ハ鐵道省ナルニ拘ラス本件土地收用ニ付テ土地收用法第十四條ノ規定ニ依リ爲サレタル内務大臣ノ專業認定竝同法第十九條ノ規定ニ依リ爲サレタル地方長官ノ土地細目ノ公告ヘ何レモ起業者ヲ鐵道大臣ト爲セルハ違法ナルヲ以テ右認定公告ハ無効ノモノニシテ之等無効ノ認定及公告ニ基キテ爲サレタル本件裁決又無効ナル旨主張スルモ鐵道省カ起業者ニシテ鐵道事業ノ爲必要ナル土地ノ收用ニ付鐵道省改良事務所長ノ名ヲ以テ爲サレタル裁決ノ申請カ違法ノモノニ非サルコトハ當裁判所昭和三年二月十六日宣告大正十五年第八十一號事件ノ判決ニ於テ説明スル所ノ如シ又起業者カ鐵道省ナル場合ニ同法第十四條ノ規定ニ依ル内務大臣ノ專業認定竝同法第十九條ノ規定ニ依ル土地細目ノ公告ニ於テ起業者ヲ鐵道省ト表示セス鐵道大臣ト爲シタルヲ違法ナリトスヘキ何等ノ理由ナシ因テ此

ノ點ニ關スル原告ノ主張ハ採用スルニ由ナシ

二、都市計畫法ニ依ル内閣ノ認可ト本法ニ

依ル專業認定

(內務大正十一年二月二十日都第六〇號) 京都市知事宛、都市計畫課長通牒

(要旨) 都市計畫トシテ内閣ノ認可ヲ受ケタル土地ノ收用又ハ使用ニ付キ其ノ認可公告ノ後三年以内ニ土地收用法第十九條ノ手續ヲ爲ササルモ右認可ハ專業認定タルノ效力ヲ失フコトナシ土地收用法第十四條ニ依リ公告シタルモノノ外同法ノ公告ト解釋スルコトヲ得ス

(願文) 大正九年工第九九〇號ヲ以テ京都市長ヨリ別紙寫ノ通直接内務次官宛照會セラレタル都市計畫法ニ關スル質疑ノ件ニ付別紙ノ通決定致候間可然御示達相成度此段依命通牒候也  
尚本件ノ如キ文書ハ地方廳ヲ經由致スヘキ様御示達相成度  
三、都市計畫トシテ内閣ノ認可ヲ受ケタルモノハ其ノ認可公告ノ後三年以内ニ土地收用法第十九條ノ手續ヲ爲ササルモ專業認定タルノ效力ヲ失フコトナシ  
四、土地收用法第十四條ニ依リ公告シタルモノノ外同法ノ公告ト解釋スルコトヲ得ス



(京都市長何)三、土地ノ收用又ハ使用ハ都市計畫事業トシテ内閣ノ認可ヲ受ケタルモノナラサル可ラサルカ如キモ土地收用法ニ所謂事業ノ認定ハ都市計畫法第十九條ニ依リ都市計畫ノ認可ヲ以テ完成スヘキカ故ニ土地收用法第十九條ノ手續ハ都市計畫トシテ内閣ノ認可公告ノ後三年以内ニ履行スルニ非サレハ其ノ認定ノ效力ヲ失フモノト解シ可然哉

四、本市市區改正ノ設計ハ客年十二月二十七日附内務省訓第八七五號ヲ以テ内閣ノ認可ヲ經タルニ依リ之ヲ公告スヘキ旨訓令ニ接シ大正九年一月二十四日之ヲ公告セリ右公告ハ土地收用法第十四條ノ公告ト看做シ可然哉

第十五條 天災事變ニ際シ急施ヲ要スル事業ノ爲土地ヲ使用スルトキハ市町村長ハ其ノ事業ノ認定ヲ爲スコトヲ得前項ノ事業ガ宮内省、國又ハ道府縣ノ起業ニ係ルトキハ宮内大臣、主務大臣又ハ道廳長官府縣知事ハ事業ノ種類、使用スベキ土地ノ區域及使用ノ期間ヲ市町村長ニ通知スベシ

前二項ノ使用ノ期間ハ六箇月ヲ超ユルコトヲ得ス軍事上臨時急施ヲ要スル事業ノ爲土地ヲ使用スルトキハ主務大

臣ハ使用スヘキ土地ノ區域ヲ市町村長ニ通知スヘシ

### 一、本條第一項及第二項改正ノ理由

(内務昭和二年改正案說明書)

(原文)天災地變ニ際シ急施ヲ要スル事業ノ爲土地ヲ使用スルトキハ郡市長ニ於テ其ノ事業ヲ認定スルコトヲ要シタリト雖郡長制度廢止ノ爲大正十五年法律第七十八號ヲ以テ從來郡長ノ爲シタル事務ヲ町村長ヲシテ執行セシムルコトト爲シタルヲ以テ其ノ趣旨ニ依リ本條ヲ改正セムトス

天災地變ニ際シ急施ヲ要スル事業ノ認定ハ本法之ヲ市町村長ノ權限ニ屬セシメタリト雖宮内省又ハ國若ハ道府縣ノ起業ニ屬スル場合ニ在リテハ特ニ市町村長ヲシテ認定セシムルノ必要ナキノミナラス場合ニ依リテハ事業ノ進捗ヲ阻害スルノ虞アルヲ以テ軍事上臨時急施ヲ要スル事業ノ爲土地ヲ使用スル場合ト同シク是等起業者ヲシテ事業ノ種類使用スヘキ土地ノ區域及使用期間ヲ市町村長ニ通知セシメ土地ヲ使用セシメムトス

### 二、本條ニ所謂「天災事變ニ際シ」ノ意義

(四六議大正十二年三月五日衆議院特別委員會)

(要旨)「天災事變ニ際シ」トハ天災事變ニ因ル應急ノ處

置ヲ爲ス如キ場合ヲ包含ス

(閣)十五條ニ「天災事變ニ際シ急施ヲ要スル事業ノ爲土地ヲ使用スル」ト書イテアリマス……天災事變ト云フ時ニ使用スルト云フノハ何ウ云フ場合ヲ想像シテヤル御考デアルカ一寸伺ツテ置キマス、實際ニ於テ私ハ其急場ニ臨ンデ收用法ヲ使フコトガ出來ズシテ困ツタコトガ有リマス、之ヲ手續スル間ニ事變ハ終ツテ了了フ事後ノ復舊問題トナツテ來ルノデアリマス

(政府委員答)仰セノ如ク「天災事變ニ際シ」ト云フ言葉ハ極メテ嚴格ニ解釋致シマスト其ノ瞬間デナケレバナラヌカト云フ様ナ風ニモ取ラレマスケレ共詰リ天災事變ニ因リマシテ應急ノ處置ヲスルト云フ様ナ事柄迄ハ第十五條ノ規定ノ運用デ參ラウト思ヒマス

註、天災事變ノ意義或ハ「際シ」ト云フ言葉ノ範圍如何ノ問題デアル。天災事變ト云フハ原因タル現象ノミヲ云フモノデナイコトハ種々ノ具體の場合ヲ想像スルモ明デアツテ其レニ因ル結果ヲ含メタ意義ニ通常用ヒラレル。從テ其ノ結果ノ繼續スル相當期間内ハ猶「天災事變ニ際シ」ト云ヘルノデアル。

第十六條 起業者カ市町村長ノ認定ヲ受ケムトスルトキハ事業ノ種類使用スヘキ土地ノ區域及使用ノ期間ヲ定メテ

町村長ニ申請スヘシ

第十七條 市町村長カ認定ヲ爲シタルトキ又ハ第十五條第二項ノ通知ヲ受ケタルトキハ起業者、事業ノ種類、使用スヘキ土地ノ區域及使用ノ期間ヲ土地所有者及占有者ニ通知スヘシ

市町村長カ第十五條第四項ノ通知ヲ受ケタルトキハ使用スヘキ土地ノ區域ヲ土地所有者及占有者ニ通知スヘシ

第十八條 起業者カ内務大臣ノ認定ノ公告ノ後三箇年内ニ第十九條ノ申請ヲ爲ササルトキハ其ノ認定ハ效力ヲ失フ

施行令

第五條 内務大臣ノ認定ノ後公共ノ事業ヲ廢止變更シタルニ因リテ土地收用法第十九條ノ申請ヲ爲スノ必要ナキニ至リタルトキハ起業者ハ之ヲ地方長官ニ届出ツヘシ  
地方長官前項ノ届出ヲ受ケタルトキハ之ヲ公告スヘシ

一、都市計畫法ニ依ル内閣ノ認可ト本法ニ

依ル事業認定

(内務大臣正十一年二月二十日都第六〇號) 京都府知事宛、都市計畫課長通牒  
(前出第十四條資料ニ參照)